

## 第497回 （6月定例）福崎町議会

福崎町長 尾崎吉晴

みなさんおはようございます。第497回福崎町議会定例会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

今年の梅雨入りは5月16日と例年に比べことのほか早く、もち麦の収穫時期と重なったことを心配していましたが、梅雨の晴れ間を縫って刈り取りが進んでいます。また、田植えも町内のあちらこちらで始まっています。農家の皆様は、忙しい中にも秋の収穫を楽しみに、農作業に従事されているのではないかと思います。

今議会は町議会議員選挙後、初めての定例会です。議員の皆様は、有権者の皆様に公約を訴え、信任を得て見事に当選されました。新たな決意をもって公務に臨んでおられることと存じます。行政と議会はよく車の両輪にたとえられます。役割はそれぞれ異なりますが、町民の福祉の向上を図るという目的は同じです。総合計画の将来像「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち」づくりに向け、一緒に頑張りたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

さて、現在、最優先で取り組んでいる事業は、新型コロナウイルスワクチン接種事業です。65歳以上の高齢者を対象に、集団接種はエルデホールと保健センターで、また、個別接種は、町内9つの診療所において鋭意進めています。7月末完了を目指して、医師会の先生方にもご理解とご協力をいただいています。国からのワクチン供給にも目途がつかまりましたので、昨日の発送をもって、希望されるすべての高齢者への予約票の送付が完了しました。

高齢者のワクチン接種が終わると、次は基礎疾患を有する人、高齢者施設等の従事者、60～64歳の人などへの接種となります。対象者も多くなりますので、どのような方法で予約をしていただくのが良いのか、検討しています。決まり次第、順次「広報ふくさき」や「ホームページ」などにより周知をします。

なお、ワクチン接種に関しては、神崎郡医師会の先生方に大変お世話になっています。通常の診療に加えて、ワクチン接種にご協力をいただいていることに対し、この場をお借りしまして心から感謝とお礼を申し上げます。

次に、この機会に、あらためて私が考えている町の重点事業5点について触れさせていただきたいと思います。

1点目は、福崎駅周辺整備事業です。駅前広場などの整備は完了しましたが、駅へのアクセス道路の拡充が必要であると考えています。現在、都市計画道路福崎駅田原線の見直しを進めており、年内の都市計画の変更を目指しています。加えて今年度は、社会資本整備総合交付金事業の採択を受けることができましたので、町道千束新町線を含めて、調査・設計、用地買収に着手します。また、県道甘地福崎線については、福崎高校前の湯口踏切から北への道路改良事業について、兵庫県と協力して取り組んでいきます。

2点目は、安全安心のまちづくりです。幸いにも昨年、一昨年と福崎町では大きな水害は起こりませんでした。全国を見渡すと、大きな災害が多数発生しています。気候変動により集中豪雨がよく起こるようになりました。また、台風の大型化も顕著です。福崎町でも大きな災害が発生しても何ら不思議ではありません。このような状況に対応するためには、二つの取り組みが重要であると考えています。一つ目は、雨水幹線工事を計画的に進めていくことです。今年度も川すそ雨水幹線工事、直谷第2雨水幹線工事について、要望額どおり交付金事業採択されていますので、しっかりと対応していきます。もう一つは、県河川・町河川の堆積土砂の撤去です。市川については河川整備計画がありますが、改修は下流からとのことで、残念ながら福崎町は現在、改修区間には入っていません。だからといって災害は待ってくれません。暫定的な措置として、特に市川本川について、堆積土砂の撤去の要望をしているところです。七種川については昨年度までに、市川合流地点からJR播但線橋梁までの区間約1,300mについて土砂撤去をしていただきましたが、引き続き上流側の土砂撤去を要望してまいります。町河川についても緊急性の高い西谷川、大内川、直谷川の3河川について土砂撤去を実施いたします。

3点目は、教育と子育て支援です。学校施設については、長寿命化計画を策定し、計画的に改修工事を進めていますが、子どもたちに直接影響する、学校生活環境を守る改修を先に進めてほしいという声も多く寄せられています。そのため、来年度から長寿命化工事に先立ち、小学校・中学校のトイレ改修を行い、続いて特別教室への空調設備の導入を進めていきたいと考えています。

GIGAスクール事業では一人一台タブレットをすべての小中学校に配備しました。学習支援ソフトも導入しましたので、コロナ対応としてだけでなく、子どもたちの理解度に応じた学習に役立てられるのではないかと期待をしています。

子育て支援については、昨年に引き続き、福崎浄化センター修景施設の改修を進め、

遊具を設置します。また、新型コロナウイルス禍のなか、出産の不安を少しでも和らげるために、急な破水や陣痛時に妊婦を病院へ搬送するための妊婦タクシー事業を開始し、利用料を一人10,000円まで助成します。これは、町民だけでなく里帰り出産の方にも同様に助成します。

4点目は、少子高齢・人口減少問題です。本町においても人口減少が始まっているという実感があります。令和2年3月に策定した「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」をしっかりと進めます。ただ、日本の人口が減少している中で本町だけが人口を維持していくことは至難の業です。日本は子育てにかかる予算では先進国の中ではGDP比で最も少ない国の一つとなっています。政府支出額のGDP比と出生率には正の相関関係が見られますので、福崎町としても努力をしていくのはもちろんですが、国を挙げて子育て支援費の拡充を図る必要があると思っています。

5点目は、文珠荘の指定管理についてです。

昨年度の募集では応募がなかったため、4月以降は休館しています。お風呂に入ったり、料理を楽しみにしていた町民の皆様にはご不便をおかけし、申し訳なく思っています。この度、公募の準備が整いましたので、再募集をします。候補者が決定すれば、9月議会で指定管理者の指定について議決をいただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

町が抱える重点事業について、私の思いや計画を述べましたが、これらの事業以外にも大切な事業はたくさんあります。それらは、平成31年3月に策定した「第5次総合計画後期基本計画」の中に盛り込んでいます。また、先ほど触れました、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、そのほかにも議会の議決をいただいた重要な計画の中にも盛り込んでいます。これらが、着実に、また計画的に実行できるように最善の努力をします。また、議員の皆さんが、この度の選挙で聞かれた町民の声を町政に反映すべく議論を重ね、元気で住みよいまちを一緒につくっていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

各課からの事業報告です。

#### 【 総務課 】

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、あわせて3度の緊急事態宣言が発出されるなか、昨年2月から現在に至るまで24回の対策本部会議を重ね、町の行事や施設の運営方針、職員の勤務態勢など、福崎町の対処方針を協議してきました。本年4月25

日に発せられた3度目の緊急事態宣言は、2度の期間延長を経て現在も発出されたままとなっています。ワクチン接種が始まったとはいえ、今後も予断を許さない状況が続いています。

福崎町は、今年、町制施行65周年を迎えるにあたり、5月3日に記念式典を予定していましたが、緊急事態宣言が発出されたことを受け、当分の間、延期しました。

4月25日に町議会議員選挙を執行しました。コロナ禍での選挙であり、投開票にあたっては感染症対策を万全に整えて実施しました。投票率は60.70%でした。

また、兵庫県知事選挙が、7月1日告示で、投開票は7月18日で執行されます。

選挙人名簿の定時登録者数は、6月1日の基準日現在、

男7,418人

女8,070人

計15,488人となり、

4月の選挙時登録より30人の増となっています。

#### 【 企画財政課 】

第5次総合計画《後期基本計画》、第5次行政改革《実施計画》の評価検証を行うとともに、《後期基本計画》、第6次行政改革大綱《実施計画》を推進していきます。

#### 【 出納室 】

5月末日で令和2年度の出納を閉鎖し、決算書並びに決算報告書の調整を行っています。今後、監査委員の監査に付して、9月定例会に決算認定を提出します。

#### 【 税務課 】

令和3年度の納税通知書等は、5月11日に軽自動車税を、5月13日に住民税特別徴収を、5月14日に固定資産税を発送しました。

また、町県民税普通徴収は6月16日に、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料は7月16日に発送すべく準備を進めています。

出納閉鎖に向け電話催告を実施、また、滞納整理対策委員会では、関係課の滞納者リストを基に合同徴収対象者リストを作成し、今後、計画的に合同徴収を行ないます。

#### 【 地域振興課 】

「自立（律）のまちづくり交付金事業」は、町民のみなさんに最も身近な自治会組織と

しての活動を支援させていただくものです。本年度も、昨年度と同様、各集落で取り組める感染予防対策として、マスクや消毒液などの消耗品の購入も交付金の対象としています。

新型コロナウイルス感染症により町内の落ち込んだ消費喚起と事業者への売上応援のため、額面総額1億2千万円 20%プレミアム付なっ得商品券事業を実施します。利用期間は7月15日から令和4年1月14日までです。また、売上が減少した飲食店等を経営している中小事業者を対象に「飲食店等持続応援金」の受付を6月30日まで実施しています。

観光振興では、駅前・辻川観光交流センターにつきましては、指定管理者(株)PAGEと連携し、賑わいづくりを心がけた運営に努めます。

駐車場が不足している辻川界限につきましては、文化観光施設を散策される来訪者やもちむぎのやかたの利用者の利便性向上のため、拠点となる駐車場の整備を進めます。

#### 【 住民生活課 】

福崎町消防団では、4月4日に入退団式及び幹部・新入団員教養訓練を実施しました。

福崎町消防操法大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

春の全国交通安全運動は、4月6日から15日の間実施し、キャンペーン・街頭指導を行いました。

#### 【 健康福祉課 】

6月2日から7月18日まで土・日を含み11日間、特定・基本健康診査、がん検診を実施します。周知を図るため各世帯に意向調査を兼ねた健診申込書を郵送し、受診率の向上に努めます。一人でも多くの方に受診していただき、重症化を予防して住民の健康を守ります。

文珠荘は、営業再開に向けて7月5日から再募集を行います。また、営業再開までの日程の説明と再開に向けての町民の意見をお聞きするための説明会を6月19日に開催します。

#### 【 農林振興課 】

令和3年度産米の作付面積については、農会長さんや農家のみなさんのご理解とご協力により、前年度比4ha減の326haの作付け見込みとなりました。

令和3年度産もち麦の収穫量は、ほぼ例年並みの見込みです。

高岡福田地区 県営ほ場整備事業については、早期の完成を目指し引き続き工事を進めます。

ため池の耐震対策を推進する、高岡地区の三谷池 県営ため池整備事業については、令和4年度完成に向け工事が進められています。

### 【 まちづくり課 】

福崎駅へのアクセス強化などを目的とした都市計画道路福崎駅田原線の道路計画の見直しについては、6月18日と20日に住民説明会を行うなど、取り組みを進めます。

舗装の経年劣化などに対応するため、舗装長寿命化修繕計画に基づき、町道中島八幡線などにおいて、舗装修繕工事を実施します。

また、橋梁の老朽化対策のため、橋梁長寿命化修繕計画に基づく定期点検の実施や補修工事の進捗を図ります。

### 【 上下水道課 】

水道事業、工業用水道事業、下水道事業、工業団地造成事業の4会計について、決算を取りまとめました。今後、監査委員の監査に付して、9月定例会に決算認定を提出します。

下水道事業汚水整備では、昨年度に引き続き、福崎浄化センター膜カートリッジ更新工事に着手しました。また、西部工業団地内の一部、汚水管未整備区間の設計に取り組んでいます。

雨水整備では、南田原地区の川すそ雨水幹線工事、並びに福田地区の直谷第2雨水幹線工事に、鋭意取り組んでいます。

### 【工業団地整備室】

工業団地造成（拡張）事業は、昨年度に着手しました東部工業団地の造成工事を継続して進めています。

工事はまもなく完了する予定で、本年度は用地売却を行う予定です。

### 【 学校教育課 】

保護者から改善要望が寄せられていました町内小中学校6校のトイレ洋式化工事の実施設業務に着手し、令和4年度からの工事実施に向けて準備を進めます。また、緊急休業に備えてGIGAスクール事業で購入した端末を持ち帰り、自宅学習が可能になるよう取り組みます。

## 【 社会教育課 】

緊急事態宣言が6月20日まで延長されていますが、社会教育施設や社会体育施設では、兵庫県の対処方針に沿って、感染防止対策を講じたうえで、開館しています。

一方、行事・イベント等では、子ども会の球技大会は中止しましたが、第42回山桃忌は、民俗芸能の披露を8月1日に、講演会とシンポジウムは収録した動画をインターネット上で8月中旬から配信し「民俗学のふるさと 福崎」を全国に向けて発信していきます。

さて、今議会に提出した議案は報告4件、議案4件の計8件です。

(略)

以上、報告が4件、議案は、人事案件が2件、条例改正が1件、補正予算が1件の全4件、合計8件となっています。

詳細説明は、副町長ほか、担当課長が行いますのでご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます、冒頭あいさつといたします。